

「矢印板」オプションで新登場

ソーラー式クッションドラムⅡ LED

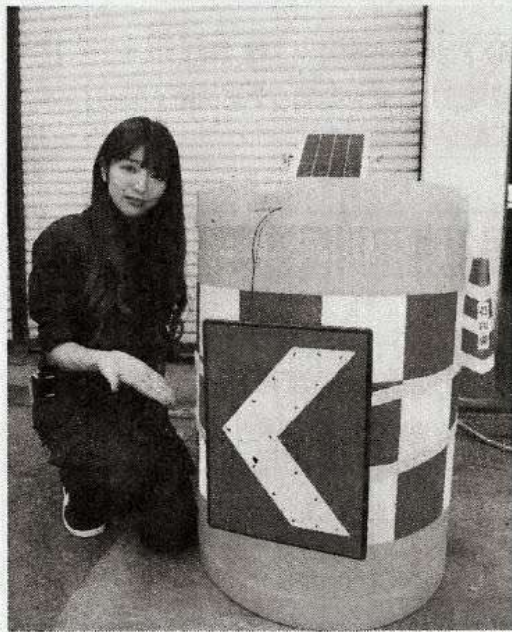
イケガミ

夜間の逆走事故防止へ

建設土木の販売リース、イベント設営レンタル、足場組立リースのイケガミ（石川県小松市、池上茂雄代表取締役）が開発、現在NETIS（国土交通省の新技术情報提供システム）に登録されている「ソーラー式LEDクッションドラムⅡ」にまた新たなアクセサリが登場、オプションとして「矢印板」を追加、7月下旬に発売する。

赤色に発色するクッションドラム本体に、高輝

度LED（白）16個がついた「矢印板」を取り付けることにより、様々な効果を生み出す。例えば、中央分離帯に設置するこ



新発売の「矢印板」を紹介する池上佳織営業主任

とにより、夜間に赤・白矢印・赤・白矢印の順に点滅し、今まで見えにくかった分離帯がわかりやすくなる。また、本線から側道に入る入口の所に設置することにより、導線もはっきり認識でき、事故防止につながる。

特に、全国的に高齢ドライバーを中心とした逆走事故が多発しているなか、道路の出入り口付近に設定することで、その防止効果も期待できる。

同社の池上佳織営業主任は「矢印板をつけることにより、ソーラー式クッションドラムⅡの視認性がさらにアップし、逆走などでの事故が一つでも多く減ることを願います」と話す。

近く同社ホームページに動画を公開、夜間の視認性などが確認できる。なお、同社が開発したソーラー式クッションドラムⅡ（特許庁の実用新案登録済み）は、日中に太陽光で充電したLEDライトによって、夜間にクッションドラム全体を光らせる。経済性、環境性、施工性にも優れることから、石川県内を中心に、全国の主要道路などで広く利用されている。製品の問い合わせは、同社（電話0761-2412322）へ。

北陸圏